**アンケート・ピックアップ**

**6月9日　株式会社ガイアックス　代表執行役社長　上田　祐司　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

　今まで起業家さんのお話を聞きながら、初期投資費用をどうしていたのだろうと思っていました。そして、お金がなければ起業なんてできないとも思っていました。ですが、たくさんの人たちの力を借りればいいということにようやく気付きました。「世の中にこういうサービスがあるべきだ！」という思いを周りに伝えて、それに共感してもらえれば、資金調達も進めていけるのだろうと思いました。また、お金の集め方については目からうろこでした。「ビジョンを打ち出し、周りを巻き込む」というのが印象的でした。私はまだ「こうなればいいのに」ということはあっても自分から解決していこうと行動したことはありません。ですが、「私がやらなければ！」と強く思えることできたとき、今回のお話を思いだしながら、行動を起こしていきたいと思いました。（経営・経営・一年）

自分だけの力では大きなことは成し遂げられないと学びました。人を巻き込んでお金を動かすというのが怖いことだということは予想だにしませんでした。「このサービスは世の中に必要だ」という信念のもとでビジネスは成り立つということを知りました。「全部そろってあとはお金だけだという状態になっていなければお金は集まらない」というのは衝撃的でしたが、その後のゼミ旅行の話を聞いてすごい話を聞いたと思いました。それまでの話と一気につながった気がして、自分の世界の広がりを感じました。（経営　国際経営　1年）

今回の講演を終えてまず思ったことは起業することがものすごく身近に感じられていることです。起業することが怖いことで簡単ではないことはわかっていますが「この社会問題を解決したいという気持ちがあれば大丈夫」という言葉を受けて起業への気持ちが前向きになりました。（経営・国際経営・1年）

将来独立しようと思っている人のみを採用することで一生懸命取り組むことのできる優秀な人材が集まるというベンチャーリンクの考え方は納得できました。また、目標の有無によるモチベーションの違いは何も仕事に関することに限定される話ではなく、大学での過ごし方にも影響することだと思い、なんとなく何かをやるのではなくしっかりと目標を立てて何かをやり遂げる必要性を今回の講演で感じました。ただ、やはり新しいことを始めるにはきっかけというものが必要不可欠とも感じました。今回のお話では突然メールが来て辞表を出して会社を辞めることになってしまったというのが、偶然ではあれ、あれも上田さんにとっては必要不可欠なきっかけだったのではないかと思いました。また、ビジネスをするのに、出資金や初期投資などで支援してもらったときに、それは他人を巻き込んでいることになり、責任はすべて自分に降りかかってくるという話を聞いて、なるほどと思ったと同時にとても恐ろしい状況でありそれ相応の覚悟がいるし責任を背負えるだけの自信とその自信をつけるための準備を念入りにする必要があり、言っていた以上に複雑なものであると感じました。（経済・経済システム・１年）

まず、今回の講演は資料もスライドもありませんでしたが、お話がうまかったので、とても聞きやすく、記憶に残りやすかったです。ベンチャー・リンクでのお話は、ベンチャービジネスがどういうものなのかを知る上でとても役に立ちました。ガリバーの会社をコンサルタントする際に、赤字が続いているにも関わらず、店舗数を300まで増やすというお話を聞いたときは少し驚きましたが、ガリバーが発展していった過程を聞いて納得しました。新たな仕事を始めて儲けようと思ったら、コツコツ伸ばしていくのではなく、恐れずに大きな規模で飛びこんでいく。これはとても勇気のある行動だと思います。自分のことを信頼して投資してくれた人を裏切り、自分自身にも多大な責任がのしかかるからです。しかし、｢このサービスは絶対に世の中に必要だ｣という強い信念があれば起業できるとおっしゃってましたが、そういう考えを持っている人は本当に素晴らしいと思います。私はまだそこまでの考えを持ったことがありません。将来そのような高い意識を持つことができるかは正直分かりませんが、自分の興味のあることから様々な問題点を発見し、ビジネスにつなげていきたいです。(経済　経済システム　1年)

　商売の根源というのは、自分で創意工夫し、自分で考え、お客さんに喜んでもらうというサイクルの繰り返しである、という言葉が印象に残りました。お客さんに喜んでもらうことが、自分のアイデアを認めてもらうということなのだと感じました。サービスが社会に必要だと思う気持ちが一番大切だというお話がありました。そこで必要なのは、人、会社を巻き込むことができるリーダーシップだと思いました。リーダーシップには、失敗を乗り越える力、良い人材を集める力、行動力など、重要なことは沢山あると思います。その基盤となることを大学在学中に育てられるように努力したいです。（経営・会計情報１年）

　起業するということがどんなに怖いものなのか、それを今日僕は学びました。自分が突飛な考えで作ったプランに他人を巻き込んで、さらには投資してもらう。このことは考えてみるととても怖いです。仮に失敗してしまったときに責任を取らされるのが自分である、自分であるならともかく協力してくれた人にまで迷惑をかけてしまうこともあるのだと学びました。（経営・経営システム１年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

　起業のリスクを強く感じた。僕が起業をする可能性はかなり低いけれど、社会に貢献できるということを仕事をする上での理念として就職を考えたい。（経済・経済システム・1年）

　どのようにビジネスを成功させるべきなのか。ということに対する答えとして、上田さんが挙げていた、ビジョン先行法はビジネスの中だけでなく、私たちの大学生活の中でも利用できるアイデアだと思いました。今あるプランはどのようなもので、我々に返ってくる利益はどのくらいなのか、明確なビジョン、他人に見せたときに納得してもらえるビジョン立ての方法を日常生活でも生かしてみようと思います。（経済・経済システム１年）

**授業スタッフの感想1**

　今回は、ビジネスを始める厳しさと楽しさの両方がわかった人が多いと感じました。普段は、起業のハードルの低さや行動を起こすべきだという所だけを主張される方が多い中で、実際の起業家の生のビジネスの厳しさを知ることができたのは、私も貴重な体験だったとアンケートを読みながら考えていました。私は人生で一度は自分で起業をしてみたいと思っております。今回の話を聞いて改めて自分に足りていないことを埋めなければならないと思いました。